

第7期 加須市障害者計画 進行管理調書（実施状況報告書）

資料3-3

1 相互理解と権利擁護の推進

1 障害者への理解の促進

1 理解促進の周知・啓発

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
1	障がい者理解促進事業	【目的】 障がいの有無にかかわらず、お互いを尊重し合う機運の醸成を図る。	・あいサポート運動の周知 ・あいサポーター研修の実施	3 ・やや遅れている	指標(単位)	あいサポーター研修開催数 (回)						・あいサポート運動の周知 ・あいサポーター研修の実施
	計画期	第6期			第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)			
	計画値	6			6	6	6	6	6			
	実績値	4			6	5	4	3	3			
障がい者福祉課	【概要】 多様な障がいの特性を理解し、手助けや配慮を実践することにより、誰もが暮らしやすい地域社会（共生社会）を創っていくための行動をする「あいサポート運動」の推進を中心に、障がいへの理解を促進する。	【評価の理由】 市民向けのあいサポーター研修や新規採用職員を対象にした研修を実施したため。						達成率	50.0%			
2	障がい者理解促進事業	【目的】 障がいの有無にかかわらず、お互いを尊重し合う機運の醸成を図る。	・公共施設駐車場に、障がい者や体の自由が利きづらい人が優先して駐車できるよう青色塗装による優先駐車場の整備及び適正利用を促す啓発看板の設置 ・「埼玉県思いやり駐車場制度（パーキング・パーミット制度）」の運用について、県と連携し、普及啓発を図るとともに、対象者には利用証を交付する。	2 ・概ね達成	指標(単位)	青色塗装区画等が整備されている公共施設数 (箇所)						・公共施設駐車場に、障がい者や体の自由が利きづらい人が優先して駐車できるよう青色塗装による優先駐車場の整備及び適正利用を促す啓発看板の設置 ・「埼玉県思いやり駐車場制度（パーキング・パーミット制度）」の運用について、県と連携し、普及啓発を図るとともに、対象者には利用証を交付する。
	計画期	第6期			第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)			
	計画値	-			-	-	45	50	55			
	実績値	22			32	38	39	41	45			
障がい者福祉課	【概要】 多様な障がいの特性を理解し、手助けや配慮を実践することにより、誰もが暮らしやすい地域社会（共生社会）を創っていくための行動をする「あいサポート運動」の推進を中心に、障がいへの理解を促進する。	【評価の理由】 2施設8箇所の駐車場に、思いやり駐車場の青色塗装を実施したため。						達成率	82.0%			

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
3	ヘルプマーク・ヘルプカードの普及	【目的】 援助や配慮を必要としている人が、援助を得やすくなることを目的とするヘルプマークとヘルプカードの普及に努める。	・窓口にて、意向確認のうえヘルプマークを交付する。	1・ 目標を達成	指標(単位)	ヘルプマーク・ヘルプカードの普及 (人)						ヘルプマーク・ヘルプカード制度の周知
	計画期	第6期			第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(決算)	令和8年度(見込)			
	計画値	150			150	150	300	300	300			
	実績値	151			295	300	356	335	300			
					【評価の理由】 ヘルプマーク等が必要な方に対し、適正に管理・交付し、概ね計画値通り交付することができたため。						達成率	
											111.7%	
4	人権推進事業 人権教育推進事業	【目的】 市民一人ひとりが豊かな人権感覚を身につけ、お互いの違いを認め、お互いを思いやり、お互いの人権を尊重しあえる社会となるよう市民との協働による「差別や偏見のない人権尊重社会」の実現をめざす。 豊かな人権感覚を身につけ、人権問題についての正しい理解と認識を深め、人	・人権問題講演会(1回) ・人権問題指導者研修会開催(5回) ・人権問題地域別研修会開催(3地域各1回) ・人権擁護委員・同問題相談員による合同相談の実施(年12回実施) ・各地域市民まつり等での啓発活動実施(市民まつり：4地域各1回→大利根地域中止のため3回、騎西地域夏まつり1回) ・人権啓発展(各文化・学習センター、田ヶ谷総合センターの計5か所)の実施(実施期間12月4日から12月22日) ・福祉作業所等市内の社会福祉法人に依頼し、人権啓発品を作成し人権啓発展等で配布。社会福祉法人の周知と人権啓発を行った。 ・人権啓発資料をヒューマンフェスティバル北埼玉2025で配布。	1・ 目標を達成	指標(単位)	人権啓発研修会等の開催数 (回)						・人権に係わる相談会や研修会、各種救済制度の情報提供は継続的に実施する必要があるため、引き続き実施していく。 ・今後も、効果のある広報、啓発活動及び施策を検討・実施していく。
	計画期	第6期			第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(決算)	令和8年度(見込)			
	計画値	12			12	12	15	16	15			
	実績値	7			8	12	15	16	17			
					【評価の理由】 ・天候不良のため、大利根地域市民まつりでの啓発活動が中止になったが、その他で計画値どおり開催することができたため。 ・人権啓発展やヒューマンフェスティバル、広報紙やHPによる周知、啓発により、市民の人権意識の向上に資することができたため。						達成率	
											100.0%	
4	人権・男女共同参画課	【概要】 人権問題講演会、人権問題指導者研修会等の研修機会を設けるとともに、人権週間や市民まつり等の機会に人権啓発活動を実施する。さらに同問題相談員の設置、人権擁護委員等と連携した同問題・女性や子ども・高齢者・障がい者などの人権に係わる相談会の開催などを行う。										
	生涯学習課	市民が豊かな人権感覚を身につけ、さまざまな人権問題の解決に資することができるように、各種研修会や講演会を実施する。										

2 福祉教育の推進

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の実組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の実組内容等
5	総合的な学習の 時間等における 実組	【目的】 市民一人ひとりが豊かな人権感覚を身につけ、お互いの違いを認め、お互いを思いやり、お互いの人権を尊重しあえる社会となるよう市民との協働による「差別や偏見のない人権尊重社会」の実現をめざす。 豊かな人権感覚を身ににつけ、人権問題についての正しい理解と認識を深め、人権が尊重される共生共存の社会の実現を図る。	総合的な学習の時間等を中心とし、すべての教育活動をととした福祉教育の実践 ○各教科 ○特別の教科道徳 ○総合的な学習の時間 ○特別活動 ○日常的な指導	1・ 目標を達成	指標(単位)	福祉教育を計画に位置付けて実践している学校数（校）						・総合的な学習の時間等に福祉教育を位置付けるとともに、すべての教育活動において計画的に実践し、児童生徒の福祉への関心や理解を深める。
	計画期	第6期			第7期							
	年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)				
	計画値	30	30		30	30	30	30				
	実績値	25	30		30	30	30	30				
学校教育課	【概要】 市内各小・中学校において、総合的な学習の時間等に福祉教育を位置づけ、計画に基づいて体験的な活動も取り入れながら実践し、児童生徒の福祉への関心や理解を深める。		【評価の理由】 全ての小・中学校において、総合的な学習の時間等を中心とし、学校における全ての教育活動をととして、福祉教育を計画的に実施したため。	達成率	100.0%							

2 差別解消の推進

1 差別解消に関する周知・啓発

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の実組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
6	障害者差別解消法の取組	【目的】 すべての障がい者が、基本的人権のもとに障がいを理由とする差別を受けないよう、また差別を解消するようにする。	・障がい者であることによる差別を解消し、差別をしないよう広報紙及びホームページにより、広く市民に制度を周知 ・市職員の適切な対応を徹底するため、「対応要領」を掲示板に掲載し、意識啓発を図る。 ・障害者週間に合わせ、啓発資料を本庁舎ギャラリーに掲示	1・ 目標を達成	指標(単位)	法制度の周知・広報 (回)						・広報紙やホームページにより、広く市民に制度を周知する。 ・引き続き、市職員の適切な対応を徹底するため、「対応要領」の共有により意識啓発を図る。
	計画期	第6期			第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)			
	計画値	3			3	3	3	3	3			
	実績値	3			3	3	3	3	3			
	【評価の理由】 障害を理由とする差別の解消の推進に関して、広報紙やHPによる市民への周知、職員への適正対応の徹底、「障害者週間」に合わせ啓発資料をギャラリーに掲示し、目標とする周知を図ったため。							達成率				
							100.0%					

2 合理的配慮の提供

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
7	障害者差別解消法の取組	【目的】 すべての障がい者が、基本的人権のもとに障がいを理由とする差別を受けないよう、また差別を解消するようにする。	・障がい者であることによる差別を解消し、差別をしないよう広報紙及びホームページにより、広く市民に制度を周知 ・市職員の適切な対応を徹底するため、「対応要領」を掲示板に掲載し、意識啓発を図る。 ・障害者週間に合わせ、啓発資料を本庁舎ギャラリーに掲示	1・目標を達成	指標(単位)	対応した課の数 (課)						・広報紙やホームページにより、広く市民に制度を周知する。 ・引き続き、市職員の適切な対応を徹底するため、「対応要領」の共有により意識啓発を図る。
	計画期	第6期			第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)			
	計画値	15			15	15	20	20	20			
	実績値	16			20	19	21	21	21			
	障がい者福祉課	【概要】 不当な差別的取扱いの禁止及び合理的配慮の提供について、広く市民に制度を周知するとともに、市職員には対応要領に基づく適切な対応を徹底する。			【評価の理由】 市職員には対応要領に基づく適切な対応の徹底を図り、必要に応じ対応する体制をとっていることにより、目標の対応件数を上回ったため。					達成率		
											105.0%	

３ 権利擁護の推進

1 権利に関する周知・啓発

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の実組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の実組内容等	
8	各種選挙執行事業	【目的】 民主主義の基本である選挙に関する事務の適正な執行を図る。	・当日投票所へのスロープ、手すり及び段差解消のための踏み台の設置	2・概ね達成	指標(単位)	移動円滑化のための設備を備えた投票所の箇所数（箇所）							引き続き各種選挙の適正な管理執行に努めるとともに、投票人が投票しやすいよう、投票環境の充実を図る。
	計画期				第6期			第7期					
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度（決算）	令和8年度（見込）				
	計画値						45	46	47				
	実績値	40			40	42	42	42	42				
	【評価の理由】 移動に障害がある投票所に対して、円滑に移動ができるように簡易スロープ等を設置し、概ね計画値を達成することができたため。							達成率					
								91.3%					

2 虐待の予防と早期発見

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	事務事業名	事業の目的 事業の概要	令和7年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
9	障害者虐待防止 事業	【目的】 障害者の権利利益の擁護を図る。	・障害者虐待通報、相談 窓口の広報 ・障害者虐待通報、相談 の受付 ・事実確認の実施 ・個別ケース会議の実施 ・モニタリングの実施 ・高齢者等虐待及び消費 者被害防止ネットワーク 会議の開催	1・目 標を 達成	指標(単位)	虐待防止に関わる周知 (件)						・広報紙、ホームペー ジで市民に制度の周知を行 う。 ・県の通報ダイヤルも周 知し、通報しやすい体制 を整える。
	計画期	第6期			第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)			
	計画値	3			3	3	3	3	3			
	実績値	3			3	3	3	3	3			
	【評価の理由】 市ホームページや広報紙にて虐待防止に関わる周知を行 い、市内事業所に啓発チラシを配布する等により、計画通り 周知を図ることができたため。						達成率					
							100.0%					

３ 成年後見制度の利用支援

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等						
10	成年後見制度利用支援事業	【目的】 知的障がい者や精神障がい者本人の財産管理、悪徳商法からの被害等を防止する。	・成年後見人制度の対象者等からの相談への対応 ・申立て後の事務手続き	1・目標を達成	指標(単位)	制度の周知・広報 (件)						・身寄りがなく、申立てをする人がいない判断能力の不十分な人の保護を図るため、市長が法定後見（後見・保佐・補助）の開始で審判を申立てる。
	計画期	第6期			第7期							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)						
計画値	2	2	2	2	2	2						
実績値	2	2	2	2	2	2						
【評価の理由】 障がい福祉サービス等に係る相談や窓口対応の際に、必要に応じた説明を行うとともに 「障害福祉ガイドブック」の配付等にて、計画通り周知を図ったため。												
達成率												
100.0%												

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
11	成年後見制度利用支援事業 法人後見事業	【目的】 成年後見制度の利用促進を図るため、成年後見制度の法人後見を受任することで、判断能力が著しく低下した市民の権利と生活を守る。	・加須市社協で市民向けの権利擁護講座を県社協にも協力頂き開催した。 ・広報誌やホームページ、ラジオ（FMわたらせ）に出演し、事業の周知をした。	4・大幅に遅れている	指標(単位)	法人後見事業の利用者数（累計）（人）						・事業及び成年後見制度の周知により、各団体からの講座依頼がくるようになった。 ・受任していた1名の方が令和7年度中に亡くなり、新規の法人後見につながっていないため、引き続き周知活動が必要である。 ・福祉サービス利用援助事業を通じて、事業利用者の法人後見の利用についても併せて検討する。
	計画期	第6期			第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)			
	計画値						12	12	12			
	実績値					1	1	1	3			
	【評価の理由】 ・目標未達のため。						達成率					
							8.3%					
社会福祉協議会	【概要】 認知症、知的障がい、精神障がい等により、判断能力が不十分な市民の財産管理、身上保護を成年後見人（後見人、保佐人、補助人）として行う。											

第7期 加須市障害者計画 進行管理調書（実施状況報告書）

2 日常生活への支援

1 地域支援体制の整備

1 基幹相談支援センター等の整備

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
12	北埼玉地域障がい者支援協議会	【目的】 在宅の障がい者等に対し、在宅福祉サービスの利用援助、社会資源の活用及び社会生活を高めるため支援等を総合的に行うことにより、地域における生活を支援する。	・委託 行田市、羽生市、加須市の共同設置による「北埼玉障がい者生活支援センター」が一般的な相談に対応 ・計画相談 指定を受けた事業所がサービス等利用計画についての相談に対応 ・一般相談 指定を受けた事業所が地域生活への移行に向けた支援や相談に対応	1・目標を達成	指標(単位)	協議会開催数 (回)						・委託 行田市、羽生市、加須市の共同設置による「北埼玉障がい者生活支援センター」が一般的な相談に対応 ・計画相談 指定を受けた事業所がサービス等利用計画についての相談に対応 ・一般相談 指定を受けた事業所が地域生活への移行に向けた支援や相談に対応
	計画期	第6期			第7期							
	障がい者福祉課	【概要】 各計画相談支援事業所のとりまとめや相談員の資質向上研修実施等相談支援の中核的な役割を担う基幹相談支援センターの設置のほか、地域生活支援拠点の整備に向けて北埼玉地域障がい者支援協議会の3市で協議を進め、地域における相談支援の中核をなす体制づくりを進める。			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)	
					計画値	2	2	2	2	2	2	
					実績値	1	1	1	2	2	2	
					【評価の理由】 令和7年度は協議会を2回開催し、計画値を達成できたため						達成率	
											100.0%	
13	障害者施設整備促進事業	【目的】 市内の障がい福祉サービス事業所の施設整備を促進し、障がい福祉の向上を図る。	・該当事業の相談を受けた場合は、必要に応じ関係機関と協議対応 ・事業所の偏在・不足の是正、解消に向けた関係法人等への働きかけ	1・目標を達成	指標(単位)	障がい福祉サービス等提供事業所数 (か所)						・事業所の偏在・不足の是正、解消に向けた関係法人等への働きかけ ・事業所開設の相談を受けた場合は、必要に応じ関係機関と協議対応 ・該当がある場合は、施設整備補助金を交付する。
	計画期	第6期			第7期							
	障がい者福祉課	【概要】 社会資源である障がい福祉サービス事業所の整備を促進するため、施設を整備する社会福祉法人に、施設整備費及び設備整備費の費用の一部として補助金を交付する。			年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)	
					計画値	60	61	62	89	90	91	
					実績値	74	87	88	94	104	110	
					【評価の理由】 グループホームや就労継続支援施設、放課後等デイサービスの整備が進み、目標を上回ったため。						達成率	
											115.6%	

2 関係機関との連携強化

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の実組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
14	障害者相談支援事業	【目的】 在宅の障がい者等に対し、在宅福祉サービスの利用援助、社会資源の活用及び社会生活を高めるため支援等を総合的に行うことにより、地域における生活を支援する。	・北埼玉障がい者生活支援センター、指定特定相談支援事業所及び一般相談支援事業所における相談支援等の実施 ・基幹相談支援センター事業の実施に向け3市（加須市、行田市、羽生市）で協議を重ね、各市で設置経費の計上、設置要綱の制定及び業務委託仕様書をまとめた。	1・目標を達成	指標(単位)	相談支援事業所ネットワーク（相談支援部会）会（回） 議開催数							北埼玉障がい者生活支援センター、指定特定相談支援事業所及び一般相談支援事業所における相談支援等の実施 ・基幹相談支援センター設置、運営委託
	計画期	第6期					第7期						
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 （決算）	令和8年度 （見込）				
	計画値	6			6	6	6	6	6				
	実績値	2			5	6	6	6	6				
	【評価の理由】 テーマを設けた各種研修会や意見交換等を行い、計画通りであったため。							達成率					
								100.0%					

2 日常生活への支援

2 障害福祉サービス等の充実

1 訪問系サービスの支援

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の実組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
15	障がい者訪問 サービス事業	【目的】 障がい者（児）が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障がい者訪問サービスに係る給付その他の支援を行い、もって障がい者（児）の福祉の増進を図る。	・障がい者訪問サービス費の支給決定 ・介護保険サービスへの円滑な利用の促進	2・概ね達成	指標(単位)	利用者数（月）（人）						・サービスが必要な方に対して、必要及び適正なサービスの給付を行う。
	計画期	第6期			第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度（決算）	令和8年度（見込）			
	計画値	210			215	220	223	231	239			
	実績値	197			192	189	186	192	239			
	【評価の理由】 「居宅介護」や「行動援護」を中心に、障害支援区分に応じたサービスを適正に提供することができたが、計画値を下回ったため。						達成率					
							83.1%					
	障がい者福祉課	【概要】 ・障害者総合支援法に基づく「居宅介護」、「重度訪問介護」、「同行援護」「行動援護」及び「重度障害者等包括支援」の障害支援区分に応じたサービスの提供を行う。 ・介護保険サービスの円滑な利用の促進【H30.4～制度改正】										

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
16	訪問入浴サービス事業	【目的】 身体障がい者に対し、訪問により居宅において入浴サービスを提供することで、重度身体障がい者の身体の清潔の保持、心身機能の維持等を図る。	・訪問入浴サービス利用申請の受付・調査・支給決定 ・委託業者による入浴支援の実施	3・やや遅れている	指標(単位)	利用者数（月）（人）						・必要とする方への適正なサービス提供を継続するため、利用者への情報提供や提供事業者の登録増加を図る。
	計画期	第6期			第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)			
	計画値	8			9	10	8	9	10			
	実績値	7			6	7	5	5	4			
	【評価の理由】 事業者との連携により適正にサービスを提供することができたが、施設入所や死亡により利用登録者が減少し、計画値を下回ったため。						達成率					
							55.6%					
	障がい者福祉課	【概要】 身体障がい者の居宅を訪問し、浴槽を自宅に持ち込んで行われる入浴の介護。 ・対象者 介護保険による訪問入浴を受けることができない在宅の身体障害者。原則、月2回を限度とするが、ガイドライン（事務処理要領）により月3回以上利用の例外もある。 利用者負担なし。										

2 日中活動系サービスの支援

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
17	障がい者日中活動サービス事業	【目的】 障がい者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害者日中活動系サービスに係る給付その他の支援を行い、もって障がい者の福祉の増進を図る。	・障がい者日中活動系サービス費の支給決定	1・目標を達成	指標(単位)	利用者数（月）（人）						・利用対象者の多い「生活介護」や「就労継続支援」を中心に、適正にサービス提供を行う。
	計画期	第6期			第7期							
	年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度（決算）	令和8年度（見込）				
	計画値	618	629		640	650	660	670				
	実績値	581	578		636	661	686	670				
	【評価の理由】 「生活介護」や「就労継続支援」を中心に、障害に応じたサービスを適正に提供することができ、計画値を上回ったため。						達成率					
							103.9%					
障がい者福祉課	【概要】 障害者総合支援法に基づく、「生活介護」、「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」、「啓発型自立訓練」、「就労移行支援」、「就労継続支援（A型・B型）」、「療養介護」及び「短期入所（福祉型・医療型）」の障害支援区分に応じたサービスの提供を行う。 【H30.4～制度改正】 ・自立生活援助、就労定着支援のサービスの創設											

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和6年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
18	移動支援事業	【目的】 障がい者等の地域での自立生活及び社会参加を促すとともに、福祉の増進を図る。	・障がい者等の外出時に付添支援を行い、地域での自立生活及び社会参加を促進 ・対象者への支給決定 ・サービス提供事業者の登録決定及び指導 ・更新案内の送付、受付、支給決定	2・概ね達成	指標(単位)	実施箇所（箇所）						訪問介護事業所の休業が増えており、事業所の安定的な確保は難しくなると予見される。
					計画期	第6期			第7期			
					年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 （決算）	令和8年度 （見込）	
					計画値	39	40	40	43	44	44	
					実績値	42	43	43	43	43	44	
					【評価の理由】 登録事業所の数が、計画値とほぼ同数となっているため。						達成率	
											97.7%	
19	障がい者福祉課	【概要】 障がい者等からの申請に基づき、支給対象であるか、その要否を決定する。 障がい者等（利用者）は、この決定に基づき、市と委託契約を締結している事業所を選択しサービスの提供を受ける。 対象となる外出は、社会生活上必要不可欠な外出および余暇活動等社会参加のための外出に限る。 対象者は身体・知的・精神手帳所持者および難病患者。		3・やや遅れている	指標(単位)	利用者数（人）						利用を希望する期間、時間が他の利用者と重なり、希望通り利用出来ないケースが散見されている。
					計画期	第6期			第7期			
					年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 （決算）	令和8年度 （見込）	
					計画値	116	118	120	86	88	90	
					実績値	68	74	75	70	67	90	
					【評価の理由】 他のサービスを利用する等の理由で、利用終了者が多く、実績値が計画値を下回ったため。						達成率	
											76.1%	
20				3・やや遅れている	指標(単位)	延べ利用時間（年間）（時間）						利用希望時間が他の利用者と重なる事が多く、利用時間の増加にはつながりにくい様子が散見されている。
					計画期	第6期			第7期			
					年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 （決算）	令和8年度 （見込）	
					計画値	13,340	13,570	13,800	8,400	8,600	8,800	
					実績値	8,005	8,055	8,100	7,054	6,057	8,800	
					【評価の理由】 事業所が増えておらず、多様化する利用者のニーズに対応出来ず、その結果利用時間が計画値より下回ったため。						達成率	
											70.4%	

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
21	障害（児）者生活サポート事業	【目的】 障がい（児）者の日常生活への支援及び介護者の負担軽減を図る。	・事業を実施する登録団体への運営費の助成 ・対象者への利用者票の発行	1・目標を達成	指標(単位)	利用者数（年間）（人）						・障害福祉サービスで対応しきれない送迎や預かりのサービスを適正に提供する。 ・適正なサービス提供ができるよう提供事業者へ指導・助言を行っていく。
	計画期	第6期			第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度（決算）	令和8年度（見込）			
	計画値	480			500	500	400	405	410			
	実績値	372			398	400	430	409	390			
	【評価の理由】 利用が促進され、実績が計画値に達したため。							達成率				
								101.0%				

3 居住系サービスの支援

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
22	障がい者居住 サービス事業 ①共同生活援助 ②施設入所支援	【目的】 障がい者が自立した日常生活又は 社会生活を営むことができるよう、 必要な障害福祉サービスに係る給付 その他の支援を行い、もって障がい 者の福祉の増進を図る。	・障がい者居住サービス 費の支給決定 ・市内共同生活援助事業 所 50事業所（内 令 和7年度開所 3事業所） ※市内障がい者入所施設 0施設	1・ 目標を 達成	指標(単位)	①共同生活援助利用者数（月）（人）						・施設の充実を図りつ つ、サポートがあれば1 人暮らしが可能な方の地 域への移行を支援する。
					計画期	第6期			第7期			
					年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)	
					計画値	128	131	134	210	220	230	
					実績値	163	184	200	215	235	230	
					【評価の理由】 市内の共同生活援助施設（グループホーム）の増加により 安定的な利用に繋がっており、計画値を上回ったため。						達成率	
											106.8%	
23	障がい者福祉課	【概要】 施設に入所する障がい者や共同生 活を営むのに支障のない障がい者に つき、主として夜間において共同生 活を営むべき住居において相談、入 浴、排せつまたは食事の介護その他 の日常生活上の援助を行う。		1・ 目標を 達成	指標(単位)	②施設入所支援利用者数（月）（人）						・入所調整を行う埼玉県 と連絡、連携を密にし、 入所希望者の支援を行 う。
					計画期	第6期			第7期			
					年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)	
					計画値	121	121	121	113	113	113	
					実績値	114	111	113	114	115	113	
					【評価の理由】 県との入所調整を適正に管理するとともに、直接施設とや りとりしながら必要な施設入所を実施でき、計画値を上回っ たため。						達成率	
											101.8%	
24	心身障害者生活 ホーム事業 障がい者福祉課	【目的】 心身障がい者に生活ホームを利用 させることで社会的自立の助長を図 る。 【概要】 ・対象者等 市内に住所を有し、自立した生活 を望みながらも家庭環境または住宅事情等の理 由により、社会的自立が阻害されている身体障 がい者または知的障がい者に対して、住宅を提 供するとともに、夜間を中心に生活面の指導・ 援助を行う。 ・施設には、運営費を補助する。 ・運営費補助単価・・・月額2,350円（た だし、月額71,479 円を保障する。）	・生活ホーム小川の施設 運営費助成	1・ 目標を 達成	指標(単位)	入居者数（月）（人）						・市内にある生活ホーム がグループホームに移行 したため、援護者（実家 が加須市）が居住する市 外の生活ホームのグルー プホーム移行を呼び掛け る。
					計画期	第6期			第7期			
					年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)	
					計画値	1	1	1	1	1	1	
					実績値	1	1	1	1	1	1	
					【評価の理由】 市内に実家がある援護者が入居する市外の生活ホームに対 し、安定した運営支援を行い、目標を達成したため。						達成率	
											100.0%	

4 福祉用具支給の支援

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
25	補装具費支給事業	【目的】 身体障がい（児）者の失われた身体機能を補完又は代替する用具を支給することで、身体障がい（児）者の社会生活や日常生活の能率向上を図る。	・補装具に関する相談 ・補装具費助成申請の受付・調査・支給・貸与の決定	2・概ね達成	指標(単位)	支給件数（年間）（ 件 ）						・購入、修理において耐用年数などを管理、確認し、引き続き適正な支給を図る。
	計画期	第6期			第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度（決算）	令和8年度（見込）			
	計画値	180			180	180	170	170	170			
	実績値	147			159	160	138	155	150			
	【評価の理由】 医師の意見書や埼玉県更生相談所への判定依頼により、適正な支給決定ができ、概ね計画通りであったため。						達成率					
	障がい者福祉課	【概要】 身体障がい者（児）や難病患者が補装具を購入・修理する際の費用を助成する。自己負担は基準額の1割、月額上限37,200円、市民税非課税世帯は自己負担なし。身体障害者手帳非対象の18歳未満の軽中度難聴児の補聴器購入の自己負担は基準額の3分の1。			91.2%							
26	障害（児）者日常生活用具給付等事業	【目的】 障がい（児）者等に対して職業その他日常生活の能率向上を図る。	・日常生活用具の給付により障がい者の日常生活及び社会生活を支援 ・日常生活用具の給付により障がい者の属する世帯の経済的負担を軽減	1・目標を達成	指標(単位)	給付件数（年間）（ 件 ）						・障がい者（児）が必要とする用具の申請に対し、内容を確認のうえ、適正に支給する。
	計画期	第6期			第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度（決算）	令和8年度（見込）			
	計画値	2,200			2,250	2,300	2,100	2,150	2,200			
	実績値	1,943			2,073	2,050	2,028	2,315	2,200			
	【評価の理由】 蓄便袋や蓄尿袋、おむつなど排泄管理支援用具を中心に、概ね計画通りの支給であったため。						達成率					
	障がい者福祉課	【概要】 在宅障がい者・児、小児慢性特定疾患児に対して、盲人用時計・移動用リフト・ストマ用装具等の給付等を行う。自己負担は基準額の1割、月額上限37,200円、市民税非課税世帯は自己負担なし。			107.7%							

5 情報提供

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
27	心身障害者扶養 共済制度の加入 促進	【目的】	新規手帳所持者へ障害福 祉ガイドブックの説明時 に案内を実施。	1・ 目標を達成	指標(単位)	新規申請数（年間）（ 件 ）						新規手帳所持者へ障害福 祉ガイドブックの説明時 に案内をするとともに、 問い合わせがあった場合 は制度の説明をしてい く。
	計画期	第6期			第7期							
		年度			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)		
	計画値	1			1	1	1	1	1			
		実績値			5	0	1	0	2	1		
	【評価の理由】 加入希望者について、説明を実施。加入希望があったた め。							達成率				
							200.0%					
28	障害者施設整備 促進事業	【目的】 市内の障がい福祉サー ビス事業所の施設整備 を促進し、障がい福祉 の向上を図る。	・該当事業の相談を受け た場合は、必要に応じ関 係機関と協議対応 ・事業所の偏在・不足の 是正、解消に向けた関係 法人等への働きかけ	1・ 目標を達成	指標(単位)	市内への施設整備の周知回数（ 回 ）						・該当事業の相談を受け た場合は、必要に応じ関 係機関と協議対応 ・事業所の偏在・不足の 是正、解消に向けた関係 法人等への働きかけ ・該当がある場合は、施 設整備補助金を交付す る。
	計画期	第6期			第7期							
		年度			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)		
	計画値	3			3	3	3	3	3			
		実績値			3	3	3	3	3	3		
	【評価の理由】 市ホームページや広報紙、窓口対応時等、今後も引き続 き、機会を捉えた効果的な周知を実施していく。							達成率				
							100.0%					
29	福祉サービス利用 援助事業	【目的】 判断能力の低下した方 を対象に日常生活を支 援し、自立・安定した 生活を図る。	・市、福祉施設、高齢 者相談センター、介護 事業所、病院等と連携 をとりながら支援を行 った。 ・加須市社協で市民向 けの権利擁護講座を 県社協にも協力頂き開 催した。 ・広報誌やホームペー ジ、ラジオ（FMわた らせ）に出演し、事業 の周知をした。	1・ 目標を達成	指標(単位)	あんしんサポートねっ との延べ利用者数（ 人 ）						新規契約者が増加傾向 にあるため、支援回数 に対して、支援員が不 足しているため、人 員確保が必要である。
	計画期	第6期			第7期							
		年度			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)		
	計画値	200			200	200	200	200	200			
		実績値			162	133	140	136	213	220		
	【評価の理由】 関係機関と連携を取り ながら、支援が必要な 方の情報を共有する ことができ、新規契 約に結びついたため。							達成率				
							106.5%					

第7期 加須市障害者計画 進行管理調書（実施状況報告書）

2 日常生活への支援

3 相談支援等の充実

1 相談支援

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
30	障害者相談支援事業	【目的】 在宅の障がい者等に対し、在宅福祉サービスの利用援助、社会資源の活用及び社会生活を高めるための支援、ピアカウンセリング、介護相談、情報の提供等を総合的に行うことにより、障がい者及びその家族の地域における生活を支援する。	・北埼玉障がい者生活支援センター、指定特定相談支援事業所及び一般相談支援事業所における相談支援等の実施 ・基幹相談支援センター事業の実施に向け3市（加須市、行田市、羽生市）で協議を重ね、各市で設置経費の計上、設置要綱の制定及び業務委託仕様書をまとめた。	2・概ね達成	指標(単位)	北埼玉障害者生活支援センター相談件数（年間）（件）							・北埼玉障がい者生活支援センター、指定特定相談支援事業所及び一般相談支援事業所における相談支援等の実施 ・基幹相談支援センター設置、運営委託
	計画期	第6期				第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度（決算）	令和8年度（見込）				
	計画値	1,420			1,440	1,460	1,480	1,500	1,500				
	実績値	1,221			1,365	1,400	1,239	1,381	1,450				
	【評価の理由】 前年度と比較し、対面での相談が増加した。障がい者及びその家族の生活を支援し、概ね計画通りであったため。							達成率					
							92.1%						
31	民生委員・児童委員活動推進事業	【目的】 民生委員・児童委員活動により、地域福祉の充実を図る。	・市や社会福祉協議会と連携した地域福祉活動の実施 ・福祉に関する研究協議及び調整 ・在宅要支援者及び家族に対する福祉活動の実施 ・災害時要援護者の把握及び登録周知活動の実施 ・各種研修機会の提供	1・目標を達成	指標(単位)	障がい者に関する相談件数（年間）（件）							・民生委員・児童委員の日頃の活動が円滑に行えるよう、関係各課からの情報やお知らせを、会議等において積極的に周知し、市と委員の情報共有に努める。 また、民生委員・児童委員の活動が年々増加している中で、地域の中で支えが必要な方々に寄り添う活動を支援する。 欠員がある地区に対して、候補者の推薦を継続して依頼する。
	計画期	第6期				第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度（決算）	令和8年度（見込）				
	計画値	160			160	160	100	100	100				
	実績値	35			55	70	94	103	100				
	【評価の理由】 障がい者に関する相談・支援活動を適切に実施したため。 また在宅要支援者及び家族に対する支援をはじめ、「地域の方の身近な相談相手」として、様々な相談が行われる中、概ね障がい者及びその家族の生活を支援することができた。							達成率					
							103.0%						

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の実施内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の実施内容等
32	高齢者総合相談 支援事業	【目的】 高齢者が住み慣れた地域で安心して その人らしい生活を継続することが できるようにする。	・市内6カ所の高齢者相 談センターにおける高齢 者やその家族等への総合 相談支援	2・ 概ね達成	指標(単位)	相談件数 (件)						・市内6カ所の高齢者相 談センターにおける高齢 者やその家族等への総合 相談支援の継続 ・関係機関との連携。 ・高齢者相談センターが 行う権利擁護支援、包括 的継続的ケアマネジメン ト業務等へのつなぎ。
	計画期	第6期			第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)			
	計画値	4,000			4,000	4,000	5,200	5,400	5,600			
	実績値	4,671			4,902	5,000	4,940	4,728	5,600			
	【評価の理由】 高齢者相談センターでの相談支援件数が目標値を概ね達成 したが、相談内容により1人当たりの相談回数が前後するた め、件数としては昨年度よりも減少となった。						達成率					
							87.6%					
	高齢介護課	【概要】 高齢者及びその家族からの相談をワン ストップで受け止め、高齢者相談セン ターをはじめとする関係機関や保健・医 療・福祉などのサービス又は制度につな げる支援を行う。また、そのためのネッ トワークの構築を行う。										

2 サービス等利用計画相談支援

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

33	障がい者相談管 理事業	【目的】 障がい者及び障がい児が自立した 日常生活又は社会生活を営むことが できるよう、必要な障害福祉サービ スに係る給付その他の支援を行い、 もって障がい者及び障がい児の福祉 の増進を図る。	・相談支援（計画相談支 援（特定相談）、地域移 行支援・地域定着支援 （一般相談））給付費の 支給 ・高額障害者福祉サー ビス費等の給付 ・障害福祉サービス等 に係る給付費の審査支払 ・障害福祉サービス等 に係る一般管理	1・ 目標を達成	指標(単位)	計画作成者数（累積）						（人）	・利用計画支援を行う事 業所との連絡、連携を密 にし、利用者に適した サービス提供ができるよ うにする。
	計画期	第6期				第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 （決算）	令和8年度 （見込）				
	計画値	680			690	700	850	860	870				
	実績値	801			835	840	851	877	870				
	【評価の理由】 障がい者がサービスを利用する計画を立てる際に、利用計 画支援を行う事業所による利用者への聞き取り等により、適 正な計画作成ができており、計画値を上回ったため。							達成率					
								102.0%					

3 「支援区分審査会」の運営

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の実組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
34	北埼玉地区障害 支援区分審査会 共同設置事業	【目的】 障がい者の支援の度合いに応じた サービスが利用できるように審査会 を経ることで基準の透明化・明確化 を図る。	・加須市、行田市、羽生 市の障害支援区分の審査	1・ 目標を 達成	指標(単位)	審査件数（年間） （ 件 ）						・毎月の審査会運営を円 滑に行い、障害福祉サー ビスの適正な支給を行 う。
	計画期	第6期			第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 （決算）	令和8年度 （見込）			
	計画値	235			210	210	275	250	250			
	実績値	264			256	260	309	275	250			
	【評価の理由】 新規にサービスの利用を希望する方や支給量を増やす方な ど、見込よりも多くの審査を行い、目標値を上回ったため。						達成率					
							110.0%					
	障がい者福祉課	【概要】 ・審査会は共同設置（行田市・加須 市・羽生市）とする。 ・加須市が事務局である。 ・審査会委員は合計15人。 ・介護給付を新規申請する者等への 障害支援区分の審査を行う。										

第7期 加須市障害者計画 進行管理調書（実施状況報告書）

2 日常生活への支援

4 経済的支援の充実

1 助成による支援

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
35	社会参加促進事業 ①運転免許取得費 ②FAX使用料	【目的】 障がい者の経済的負担の軽減と社会参加等の促進を図る。	・障がい者自動車運転免許取得費補助及び身体障がい者自動車改造費補助 ・自動車燃料費助成及びファクシミリ利用料助成 ・福祉タクシー利用料助成	3・やや遅れている	指標(単位)	①自動車運転免許取得費支給決定者数（人）						・障がい者が自ら進んで社会参加できるよう、自動車運転免許の取得費を助成する
					計画期	第6期			第7期			
					年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 （決算）	令和8年度 （見込）	
					計画値	3	3	3	7	7	7	
					実績値	6	4	4	2	5	7	
					【評価の理由】 計画値を下回ったが、概ね計画通りだったため。						達成率	
											71.4%	
36	障がい者福祉課	【概要】 ・障がい者自動車運転免許取得費補助…12万円を限度 ・身体障がい者自動車改造費補助…10万円を限度 ・自動車燃料費助成…月額1,000円（上限） ・福祉タクシー利用料助成…年間24枚 ・ファクシミリ利用料助成…月額1,000円（上限）		4・大幅に遅れている	指標(単位)	②電話ファクシミリ使用料金助成件数（年間）（件）						・聴覚、音声及び言語機能障がい者に対し、制度の周知を徹底し、経済的負担の軽減を図る
					計画期	第6期			第7期			
					年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 （決算）	令和8年度 （見込）	
					計画値	65	65	65	60	60	60	
					実績値	47	60	60	27	23	23	
					【評価の理由】 ＩＴ機器の多様化により、電話ファクシミリ以外での通信方法を選択することができるため						達成率	
											38.3%	

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の実組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
37	重度心身障害者 医療費支給事業	【目的】 重度心身障がい者（児）やその家 庭の経済的負担を軽減し、重度心身 障害者（児）の福祉の増進を図る。	・新規登録申請の受付及 び審査 ・重度心身障害者医療費 の支払処理	1・ 目標を達 成	指標(単位)	受給者数（年間） （ 人 ）						・受給対象となる重度心 身障害者への制度の周知 を行い、経済的負担の軽 減を図る。
	計画期	第6期			第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 （決算）	令和8年度 （見込）			
	計画値	2,500			2,500	2,500	2,300	2,300	2,300			
	実績値	2,338			2,245	2,300	2,174	2,615	2,700			
	【評価の理由】 65歳以上で手帳を取得した障がい者を対象外として以 降、受給者数は減少傾向であったが、令和8年1月から精神 障害者手帳2級が対象となったことから受給者数が大幅に増 加したため。						達成率					
	障がい者福祉課	【概要】 対象者から請求される医療保険制度の一部負 担金及び入院食事療養費標準負担額（18歳年 度末まで）を助成する。 ○受給資格者・身体障害者手帳1、2、3級所持 者・療育手帳マルA、A、B所持者・精神障害 者保健福祉手帳1、2級所持者(令和8年1月 から)65歳以上で後期高齢者医療制度の障害認 定に該当する者。（65歳以上で新たに重度障 害になった場合、H27年1月から対象外）			113.7%							

2 手当による支援

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の実組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
38	特別障害者手当 等支給事業	【目的】 重度障がい（児）者の介護者等の 経済的・精神的負担の軽減を図る。	・申請の受付、審査、決定 ・手当の支給 ・その他変更や喪失に係 る事務 ・要介護4、5の高齢者 への制度周知の案内送付	2・概ね達成	指標(単位)	支給対象数（人）						・介護保険担当と連携し、要介護4、5の方への周知を徹底し、経済的負担軽減を図る。
	計画期	第6期			第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)			
	計画値	206			208	210	202	204	206			
	実績値	202			199	200	196	201	205			
	【評価の理由】 要介護4、5の方に制度周知を徹底したことにより、潜在していた対象者への支給に繋がり、概ね計画通りであったため。						達成率					
							98.5%					
	障がい者福祉課	【概要】 ・特別障害者手当 月額29,590円…20歳以上で身体又は精神の障害で常時介護を要する者 ・障害児福祉手当 月額16,100円…20歳未満で身体1級・2級の一部、知的〇A、精神 ・経過福祉手当…月額16,100円…昭和61年4月1日の制度改正以前に福祉手当を受給していた者で特障手当も障害年金も受けない者										

第7期 加須市障害者計画 進行管理調書（実施状況報告書）

2 日常生活への支援

5 保健・医療の充実

1 予防と早期の対応の充実

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
39	乳幼児健診事業	【目的】 親と子の自主的な健康づくりを推進するため、乳幼児の健診を実施し、乳幼児の健康の保持増進及び虐待予防を図る。	・1か月児健診、3～4か月児健診、9～10か月児健診、1歳6か月児健診、2歳児健診、3歳児健診を実施。	2・概ね達成	指標(単位)	3歳児健診受診率 (%)						・引き続き、未受診者に対して通知の郵送、電話、訪問等の受診勧奨を行う。
					計画期	第6期			第7期			
					年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)	
					計画値	100	100	100	100	100	100	
					実績値	95.1	94.3	93.7	96.0	94.4	95.0	
					【評価の理由】 3歳児健診の受診対象者676名に対し、受診者638名と受診率は94.4%であったため。						達成率	
											94.4%	
40	幼児発達支援事業	【目的】 親と子の自主的な健康づくりを推進するため、幼児期の発達、または養育者の育児の不安などにより、育児支援が必要な養育者と子に対して支援を行う。	・親子教室、ことばの相談（言語聴覚士による相談）、こども発達相談（心理による相談）を実施	1・目標を達成	指標(単位)	乳幼児健診等で紹介した児の教室への参加割合 (%)						・引き続き、相談支援を行う。
					計画期	第6期			第7期			
					年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)	
					計画値	85	85	85	85	85	85	
					実績値	69.6	81	88.5	86.7	88.5	87.6	
					【評価の理由】 ことばの遅れや発達、行動面や対人関係等に心配のあるこどもや、こどもとの関わりに不安をもっている養育者に対し、遊びを通して発達を促し、養育者の育児不安や育児負担の軽減を図っている。						達成率	
											104.1%	

2 保健・医療サービスの充実

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
41	初期・二次・三次救急医療支援事業	【目的】 医師不足などによる厳しい医療環境のなかで、地域の救急医療体制を確保し、医療に対する市民の安心感を高める。	・在宅当番医制の運営 ・救急病院の当直医確保への支援 ・東部北地区病院群輪番制の運営支援 ・埼玉東部消防組合との連携 ・救急医療体制推進協議会等での協議 ・公的病院救急医療等運営費の補助 ・医療連携推進会議での協議	1・ 目標を達成	指標(単位)	市内医療機関への救急搬送者数の割合 (%)						・引き続き在宅当番医制及び救急医療支援事業を実施することにより、休日・夜間における初期救急医療体制を確保する。 ・救急搬送者数が増加傾向にあることから、救急車の適正利用を啓発し、搬送者数の増加を抑制することで、市内医療機関への搬送割合の更なる増加を図る。
	計画期	第6期			第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)			
	計画値	32			52	54	56	58	60			
	実績値	19			40	57	57	61	61			
	【評価の理由】 市内の3次救急医療機関への搬送実績が増加し、市内医療機関への搬送割合が改善したため。						達成率					
							105.2%					

第7期 加須市障害者計画 進行管理調書（実施状況報告書）

3 障がい児に対する支援

1 障がい児支援の充実

1 早期発見・早期療育体制の充実

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の取組状況	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
42	未熟児養育医療 給付事業	【目的】 未熟児の保健の向上と保護者の経済的負担の軽減を図るため、養育医療費を給付する。	・医療費の助成	1・ 目標を達成	指標(単位)	支給率 (%)						・出産後直ちに医療を必要とする未熟児の保護者にかかる医療費負担を公費で支援し、未熟児の保健の向上と保護者の負担軽減を図る。
	計画期	第6期				第7期						
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)			
	計画値	100			100	100	100	100	100			
	実績値	100			100	100	100	100	100			
	【評価の理由】 申請に基づき、適正な医療費支給を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減に寄与した。							達成率				
								100.0%				
43	あすなろ園管理 運営事業	【目的】 母子通園により障がい児の機能訓練や生活訓練を実施し、子どもの発達に合わせた支援とともに親支援を行い、集団保育や就学につなげる。	・障がいがある就学前児童の発達支援 ・共に通う保護者に対して家庭における育児の支援（助言・指導）	3・ やや遅れている	指標(単位)	あすなろ園通園者数 (人)						・個々の障がいに適切に対応できるよう特別支援学校等の巡回相談や研修を通じて、関係機関や庁内関係課との連携・協力関係の強化を図る。 ・母子通園により機能訓練や生活訓練を実施し、子どもの発達に合わせた支援と親支援を行い、集団保育や就学につなげていく。
	計画期	第6期				第7期						
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)			
	計画値	20			20	20	20	20	20			
	実績値	10			16	22	14	13	15			
	【評価の理由】 ・保護者支援が必要なケースに対応する施設として、すくすく子育て相談室と連携を図り、園児の受け入れを行うとともに、就学前児童の発達支援等を実施した。							達成率				
								65.0%				

2 発達障がいへの支援

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の取組状況	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
44	特別支援教育推進事業	【目的】 児童生徒の教育的ニーズに対応するため、介助を必要とする児童生徒の就学支援体制の充実を図る。	○小・中学校に、障がい児介助員を計画的に配置した。 ○難聴・言語障害通級指導教室の運営 ○就学時健康診断で対象となった児童への二次検査の実施、入級までの保護者との円滑な相談を行った。	1・目標を達成	指標(単位)	障がい児介助員配置人数 (人)							・児童生徒の障害の程度を把握し、適切に各小中学校へ配置を進めるとともに、障がい児介助員の質向上のため、校内支援体制の充実と研修会実施を検討していく。
	計画期	第6期				第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)				
	計画値	60			60	60	61	62	63				
	実績値	61			60	60	63	64	62				
	学校教育課	【概要】 特別支援学級や通常学級で学ぶ児童生徒の教育活動を支援する障がい児介助員を配置する。難聴・言語障害通級指導教室（ことばの教室）を運営する。発達障害・情緒障害通級指導教室を運営する。			【評価の理由】 目標としていた人数を配置することができ、個別の支援が行き届き特別支援教育の充実が図られたため。							達成率	
												103.2%	

3 障がい児サービスの支援

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の取組状況	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
45	障がい児発達支援事業 ①児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援・居宅訪問型児童発達支援 ②障害児相談支援	【目的】 障がい者及び障がい児が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付その他の支援を行い、もって障がい者及び障がい児の福祉の増進を図る。	・障がい児発達支援費の支給決定	1・目標を達成	指標(単位)	①利用者数(月) (人)						・増加傾向にある学齢期の障がい児の日中活動の支援を中心に、受け入れの充実に向けて、事業者と情報提供や連携を促進する
					計画期	第6期			第7期			
					年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)	
					計画値	232	239	246	240	252	264	
					実績値	186	227	239	553	614	264	
					【評価の理由】 主な利用は放課後等デイサービスと児童発達支援が多くを占め、利用者のニーズ合わせた適正な支給決定を行い、目標値を大きく上回ったため。						達成率	
						243.7%						
46	障がい者福祉課	【概要】 障害種別(身体障害・知的障害・精神障害)にかかわらず、障がいのある人が必要とするサービスを利用できるよう、個々の障害の程度や社会活動、介護者の居住等の状況するなど、勘案すべき事項を踏まえ、個別に支給決定を行う。		1・目標を達成	指標(単位)	②計画作成者数(累積) (人)						・増加傾向にある学齢期の障がい児の日中活動の支援を中心に、障害児相談支援事業所と連携する利用計画を作成する
			計画期		第6期			第7期				
			年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)		
			計画値		200	205	210	360	370	380		
			実績値		281	320	350	420	470	380		
			【評価の理由】 障がい児がサービスを利用する計画を立てる際に、障害児相談支援事業所による利用者への聞き取りにより、適正な計画作成ができ、計画値を大幅に上回ったため。						達成率			
						127.0%						

4 重症心身障がい児支援

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の取組状況	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
47	在宅重症心身障がい児の家族に対するレスパイトケア事業	【目的】 重症心身障がい児を在宅で介護する家族の負担軽減を図る。	該当事業所での利用があったら、事業所へ助成金を交付する。	1・ 目標を達成	指標(単位)	助成金交付者数（延べ人数）（人）							重症心身障害児の家族から相談があったら、短期入所等の利用案内を実施。該当となる事業所の利用予定となった場合、事業所と連絡を取り助成金の交付ができるよう調整を行う。
	計画期	第6期				第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 （決算）	令和8年度 （見込）				
	計画値	240			240	240	120	120	120				
	実績値	165			124	120	85	121	120				
	【評価の理由】 以前より利用申請されていた利用希望者が、定期的に利用することができるようになったため。							達成率					
								100.8%					
	障がい者福祉課	【概要】 医療的ケアを必要とする重症心身障害児者を在宅で介護する家族の精神的、身体的負担の軽減を図るため、短期入所や日中一時支援等のレスパイトケア（休息のための支援）事業において受け入れた事業者へ助成金を交付する。											

5 障がい児の家庭への支援

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の取組状況	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
48	特別児童扶養手 当支給（県事 業）	【目的】 県事業のため事業管理シートなし。 精神又は身体に一定の障がいのある児童を養育する家庭等に対する経済的な支援を行ない、児童の福祉の増進を図る。	・認定請求書や所得状況届等を受け付け、県へ進達 受給者数：202人	1・ 目標を達成	指標(単位)	対象者への支給率（％）						・対象となり得る児童を養育する家庭等に対し、制度を周知する。
	計画期	第6期			第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)			
	計画値	100			100	100	100	100	100			
	実績値	100			100	100	100	100	100			
	【評価の理由】 手当を支給することにより、20歳未満で、身体又は精神に政令で定める程度の障がいのある児童を監護する父若しくは母又は父母にかわってその児童を養育している方の経済的負担の軽減に寄与できたため、「目標達成」と評価した。						達成率					
							100.0%					
	子育て支援課	【概要】 20歳未満で、身体又は精神に政令で定める程度の障害のある児童を監護する父、もしくは母、または父母にかわってその児童を養育している方に手当を支給する。										

第7期 加須市障害者計画 進管理調書（実施状況報告書）

3 障がい児に対する支援

2 教育・保育の充実

1 就学前教育・保育の充実

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の取組状況	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
49	公立保育所障害児保育事業	【目的】 障がいがある児童の家庭を支援する保育サービスの充実を図る。	・配慮、見守りを必要とする乳幼児の状況確認 ・民間保育所が対応できない児童の積極的受け入れ ・民間保育所に対する障がい児の積極的受け入れへの働きかけ ・障がい児受け入れ実績に応じた適正な支援	1・目標を達成	指標(単位)	障害児保育実施保育所数（公立・民間）（箇所）						・障がいのある児童の状況に応じて適切な保育が進められるよう、保育士の加配や民間保育園への助成を必要に応じて行い、児童の発達及び保護者の就労と子育ての支援を行う。	
	計画期				第6期			第7期					
	年度				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度（決算）	令和8年度（見込）			
	計画値	22			22	22	22	22	22				
	実績値	22			22	22	22	22	22				
	民間保育所障害児保育事業	【概要】 障害があり保育を必要とする児童の集団保育を、全公立保育所で実施。障害児3人に対し最低1名の保育士を加配するとともに、専門家や専門機関と必要な連携をとりながら、児童の発達及び保護者の就労と子育てを支援する。	1・目標を達成	【評価の理由】 公立保育所では、保育士の加配を行い受け入れ拡大に努め、民間保育所では、補助対象となる児童を受け入れたことで目標を達成したため。							達成率		
	こども保育課										100.0%		
50	公立幼稚園管理運営事業	【目的】 公立幼稚園（13園）の適正な管理運営を行う。		・公立幼稚園の教育の充実を図るため、また特別な配慮を必要とする幼児に対しての支援を行うために、すべての公立幼稚園に幼稚園業務補助員を配置	1・目標を達成	指標(単位)	補助員配置幼稚園数（園）						・巡回相談や関係機関との連携を図り、特別な配慮を必要とする幼児、保護者への支援を行うとともに、職員の資質向上を図る。 ・引き続き、特別支援教育を推進するため、幼稚園業務補助員の配置を行う。
	計画期					第6期			第7期				
	年度		令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度（決算）	令和8年度（見込）			
	計画値	13	13			13	8	8	8				
	実績値	13	12			11	8	8	8				
	こども保育課	【概要】 ・公立幼稚園13園について、必要な消耗品費、印刷製本費、光熱水費、修繕費、委託料、土地借上料、備品購入費などを適正に管理し、管理運営を行う。 ・幼児・教職員の健康診断等を実施する。 ・幼稚園の環境衛生検査を実施する。 ・産休代替、欠員補充職員を雇い上げ適正に配置する。 ・幼稚園補助員を配置する。	1・目標を達成	【評価の理由】 公立幼稚園では、すべての幼稚園に補助員を配置し、特別な配慮を必要とする幼児への合理的配慮に努め、計画通りに行ったため。							達成率		
											100.0%		

2 就学後教育等の充実

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の取組状況	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
51	公立放課後児童 健全育成事業	【目的】 放課後の時間帯や長期休業期間 中、就労等により家庭保育ができな い保護者に代わり、家庭的機能の補 完を行いながら児童の生活の場を提 供し、子育ての支援及び児童の健全 な育成を図る。	・市内15小学校区で放課 後児童クラブを実施 ・主任指導員配置による 安定的な運営 ・教育委員会、各小学校 と連携した管理、運営 ・待機児童ゼロ維持のた めの指導員確保 ・主任指導員の配置 ・16クラブ（20支援単 位）に事業委託 ・クラブが行う多子世帯 等（クラブ複数児童利用 世帯等）の保育料減免に 対する助成 ・設備運営基準条例に基 づく検査・指導	1・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	実施箇所数（公立・民間） （箇所）						・障がいのある児童の状 況に応じて適切な保育が 実施できるよう、指導員 の加配や、民間放課後児 童クラブへの助成を必要 に応じて行う。
	計画期				第6期				第7期			
	年度				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 （決算）	令和8年度 （見込）		
	計画値				34	34	33	34	34	34		
	実績値				34	34	34	34	34	34		
	【評価の理由】 計画値どおりの実施箇所数を達成したため。							達成率				
	こども保育課	【概要】 ・保護者の就労等により、家庭保育 が困難な世帯の小学校就学児童を対 象に小学校や幼稚園の余裕教室等を 利用して学童保育を行う。 ・開設時間：学校開業日：放課後～ 19時、学校休業日：7時30分～19 時、・合同保育の実施 ・民間放課後児童クラブに事業委託 し、放課後児童健全育成事業を実施 する。			100.0%							

第7期 加須市障害者計画 進行管理調書（実施状況報告書）

4 就労への支援

1 就労機会の拡充

1 職業能力の開発・育成

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の実施状況	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
52	障がい者福祉課	【概要】 [北埼玉障がい者就労支援センター] 加須市、羽生市、行田市との共同設置。社会福祉法人 共愛会へ委託する。 【就労支度金】 施設での訓練が終了し、就職等により自立した者に就職支度金を支給し、社会復帰の促進を図る。	・就労準備支援 ・職場定着支援 ・職場開拓、就職支援 ・離職時支援	1・ 目標を達成	指標(単位)	就労支援センター実習等企業数（市内）（社）						・北埼玉障がい者就労支援センターから毎月報告を受け、状況に応じ個別に対応する ・ハローワークをはじめ関係機関との連携により、障がい者の就労の機会を広げる
					計画期	第6期			第7期			
					年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)	
					計画値	10	10	10	10	10	10	
					実績値	6	9	9	11	16	10	
					【評価の理由】 就労に向けた実習を行うため、北埼玉障がい者就労支援センターが受入先の企業探し、調整に努めたことにより、実績が計画値を達したため。						達成率	
											160.0%	

2 一般就労の促進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の取組状況	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
53	就業支援事業	【目的】 市民が安定した生活を営めるよう、厳しい雇用情勢に対応し、求職者の早期就業を支援する。	・就業支援セミナー等の開催・共催・拡充 ・就業支援情報の提供 ・内職相談の実施 ・市内の求人求職等データの把握・分析 ・各種面接会の開催	3・やや遅れている	指標(単位)	県北障害者就職面接会の参加者数（人）						・引き続き、県北障害者就職面接会実施に向けハローワーク行田と調整する。
	計画期	第6期			第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)			
	計画値	115			115	115	100	100	100			
	実績値	88			73	60	85	63	100			
	【評価の理由】 参加人数が目標の6割弱のため、本評価となった。							達成率				
								63.0%				

2 就労環境の整備

1 就労の場の確保

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の取組状況	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
54	人事管理事業	【目的】 自立した自治体経営を目指すため、人材を経営資源の1つと捉え、人材育成事業と組み合わせながら、公平・公正で職員一人ひとりの能力を発揮させる人事管理を行う。	・障害者を対象とした職員採用試験の実施（年1回） ・障害者職業生活相談員及び障害者雇用推進者の選任 ・障害者職員にアンケート調査を実施 ・障害者雇用推進者等会議の実施 ・障がい者である職員の任免状況の公表 等	2・概ね達成	指標(単位)	障がい者雇用率 (%)						・障害者を対象とした職員採用試験の実施（年2回） ・障害者職業生活相談員及び障害者雇用推進者の選任 ・障害者職員にアンケート調査を実施 ・障害者雇用推進者等会議の実施 ・障がい者である職員の任免状況の公表 ・障害者を対象とした会計年度任用職員の募集
	職員課	【概要】 市役所の正職員及び会計年度任用職員における障がい者の採用を促進する。			計画期	第6期			第7期			
					年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)	
					計画値	2.6	2.6	2.6	2.8	2.8	2.8	
					実績値	2.69	2.72	2.75	2.38	2.47	2.8	
【評価の理由】 障害者である職員の退職と、障がい者雇用率算定の対象となる職員（主に会計年度任用職員）の増加により、計画値を達成していないため。						達成率	88.2%					
55	障害者就労支援事業	【目的】 障がい者に対し、就労に関する相談支援や情報提供等を行うことで、障がい者の経済的自立と社会参加の促進を図る。	・就労準備支援 ・職場開拓、就職支援 ・職場定着支援 ・離職時支援 ・就職支度金の支給	2・概ね達成	指標(単位)	就労支援センター利用者就職率 (%)						・北埼玉障がい者就労支援センターから毎月報告を受け、状況に応じ個別に対応する。 ・ハローワークをはじめ関係機関との連携により、障がい者の就労の機会を広げる。
	障がい者福祉課	【概要】 [北埼玉障がい者就労支援センター] 加須市、羽生市、行田市との共同設置。社会福祉法人 共愛会へ委託する。 [就労支度金] 施設での訓練が終了し、就職等により自立した者に就職支度金を支給し、社会復帰の促進を図る。			計画期	第6期			第7期			
					年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)	
					計画値	37	38	40	30	30	30	
					実績値	22	26	25	22	24	30	
【評価の理由】 北埼玉障がい者就労支援センターを利用した障がい者のうち、新規に就労できた人数（利用者92人中22人）の割合が、計画値に達しなかったため。						達成率	80.0%					
56	身体障がい者等 はり・きゅう・ マッサージ券給 付事業	【目的】 身体障がい者等の機能低下予防を図るとともに、視覚障がい者の就業及び経済的自立を推進する。	・対象者への制度の周知 ・新規利用申請の受付、助成券の交付 ・継続利用者へ助成券送付 ・指定治療院と委託契約の締結	3・やや遅れている	指標(単位)	給付者に対する利用者の割合 (%)						・対象者への制度の周知 ・新規利用申請の受付、助成券の交付 ・継続利用者へ助成券送付 ・指定治療院と委託契約の締結
	障がい者福祉課	【概要】 保険適用外のはり、きゅう、マッサージ、あん摩、指圧の施術費の一部を助成券で支給するとともに、視覚障がい者の就業及び経済的自立を推進する。			計画期	第6期			第7期			
					年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)	
					計画値	40	40	40	30	30	30	
					実績値	22	25	25	22	16	20	
【評価の理由】 施術事業所が少ないため、登録者数に対して、利用件数が目標値を下回っているため。						達成率	53.3%					

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の実組状況	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
57	障害者優先調達推進	【目的】 障がい者就労施設等からの物品等の調達の推進を図る。	・各課に優先調達について周知し、発注可能なものを選定 ・障害者就労施設等の市庁舎内での物品販売（昼休み）での販売スペースを確保	2・概ね達成	指標(単位)	発注額（千円）						・各課に優先調達について周知し、発注可能なものの増加を図る。 ・物品等の調達のほか、障害者就労施設等の市庁舎内での物品の販売（昼休み）や市及び関係団体等が実施するイベント等での販売スペースの確保などを推進する。
	計画期	第6期			第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度（決算）	令和8年度（見込）			
	計画値	2000			2100	2200	2200	2,000	2,000			
	実績値	1,980			1,573	1,650	1,983	1,816	2,000			
	【評価の理由】 実績値が計画値を下回ったため。							達成率				
								90.8%				

2 関係機関等との連携強化

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の実組状況	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
58	障害者就労支援 事業	【目的】 障がい者に対し、就労に関する相談支援や情報提供等を行うことで、障がい者の経済的自立と社会参加の促進を図る。	・就労準備支援 ・職場開拓、就職支援 ・職場定着支援 ・離職時支援 ・就職支度金の支給	2・概ね達成	指標(単位)	新規就労者数（年間）（人）						・北埼玉障がい者就労支援センターから毎月報告を受け、状況に応じ個別に対応する。 ・ハローワークをはじめ関係機関との連携により、障がい者の就労の機会を広げる。
	計画期	第6期			第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)			
	計画値	30			30	30	25	25	25			
	実績値	18			22	20	22	22	25			
	【評価の理由】 目標値が計画値に達しなかったため。						達成率					
							88.0%					
	障がい者福祉課	【概要】 [北埼玉障がい者就労支援センター] 加須市、羽生市、行田市との共同設置。社会福祉法人 共愛会へ委託する。 [就労支度金] 施設での訓練が終了し、就職等により自立した者に就職支度金を支給し、社会復帰の促進を図る。										

第7期 加須市障害者計画 進行管理調書（実施状況報告書）

5 社会参加の促進

1 文化芸術・スポーツ活動の支援

1 文化芸術活動への支援

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の取組状況	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
59	市民学習力レ ッ事業	【目的】 市民の学習参加のきっかけづくりと生涯学習活動を促進するために、市民一人ひとりがそれぞれの年代やライフスタイルに応じて、自由に学び、楽しみ、その学習成果を地域社会に活かせる仕組みを整備し、併せて地域の活性化を促進する。 市民一人ひとりの生涯学習を通じた学習参加のきっかけづくりと学習活動を支援するため、市全体を対象として生涯学習の広がりと深まりを求めた学習機会を提供する。	障がい者団体の総会や会議等でセミナーをPRし、市民学習力レッシセミナーに障がい者が参加しやすい環境を整える。	4・大幅に遅れている	指標(単位)	市民学習力レッシ参加者に対する配慮を行った件数(件)							障がい者が興味を持つ講座を生涯学習市民企画委員とともに研究・企画する。
	計画期	第6期				第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)				
	計画値	80			80	80	1	1	1				
	実績値	－			－	－	0	0	1				
	生涯学習課	【概要】 ・先駆的、話題性のあるテーマのセミナー(講座)を公民館、文化・学習センター等と連携し、開催する。 ・生涯学習情報を掲載した情報紙等を充実させ、市民へ啓発周知する。 ・公民館、文化・学習センター等と連携を図り、市民講師や市内講師、市内全域の会場を活用し、趣味的教養的セミナーや現代的、社会的課題を取り入れた総合的な幅広いセミナーを実施。 ・全市民対象のセミナーを毎年度4月に概ね60セミナーを募集、開講。 ・生涯学習を循環させるための、生涯学習フェスティバルなどのイベント等を開催する。			【評価の理由】 開催したセミナーに障がい者の参加がなかったため、目標を達成できなかった。					達成率	0.0%		
60	図書館資料整備 充実事業	【目的】 高度化・多様化する市民ニーズに応え、市民の教育と文化の発展に寄与する。	・図書館資料の計画的な購入・受入・見直し ・県内の公共図書館との連携 ・郷土資料(行政資料等)の収集・受入 ・図書館資料の適切な除籍	1・目標を達成	指標(単位)	障がい者向け資料の整備(点)							・障がい者向け資料の充実を図り、障がい者の読書環境を整えていく。
	計画期	第6期				第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)				
	計画値	180			185	190	270	275	280				
	実績値	225			258	264	278	302	310				
	図書館課	【概要】 加須市立図書館資料収集要綱及び収集基準に基づき、新刊案内情報誌、貸出傾向等を参考に、利用者からリクエストのあった図書、基本図書など多様な資料を購入し、地域行政資料も積極的に受入整備することで、蔵書の充実を図り、市民ニーズに対応できる魅力ある図書館づくりを図る。			【評価の理由】 新たに出版されたししブックや点字資料を購入・受入することにより、障がい者向け資料の充実を図ることができた。					達成率	109.8%		

2 スポーツ活動への支援

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の取組状況	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
61	スポーツ教室等 開催事業	【目的】 健康の保持増進や体力の維持向上 を目指し、スポーツを通して仲間と の交流を図るとともに、生きがいづ くりや交流により人と人との絆を深 める。	・市民のスポーツへの関 心を高めるためスポーツ 教室を開催 ・みんなでスポーツ！なん でもアリーナ、 Do You！ スポーツミッ クス、ニュースポーツ教 室、健康アップ講座、 ニュースポーツ体験会、 ポッチャ体験ミニ大会、 加須市ポッチャ交流大 会、 フロアカーリング大会、 健康チャレンジ2025	1・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	障がいのある方が参加できる教室の開催回数（回）						・スポーツ推進委員や総 合型地域スポーツクラブ とも連携し、障害のある 方が楽しく参加すること ができる教室を開催す る。
	計画期	第6期			第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)			
	計画値	18			18	18	8	9	10			
	実績値	3			4	6	6	9	9			
スポーツ振興課	【概要】 市民のスポーツへの関心を高めるため、ス ポーツ教室を開催する。 ・ヨガピラティス教室 ・ニュースポーツ教室 ・Do You スポーツミックス ・なんでもアリーナ	【評価の理由】 ・スポーツ推進委員や各団体と連携し、障害の有無にかかわ らず、こどもから高齢者まで参加できるスポーツ教室を開催 し、計画値を達成したため。	達成率	100.0%								
62	障害者スポーツ 交流事業	【目的】 障害（児）者及び介護者をはじめ として、スポーツを通して交流を図 る。	令和7年6月21日（土） 9：30～11：30 加須市民体育館で開催 参加者 ・11団体 ・個人参加 1名 ・誠和福祉高校 ・民生委員 ・スポーツ推進員 ・ボランティア ・市職員（動員含む）	2・ 概 ね 達 成	指標(単位)	障がい者スポーツ交流大会参加者数（人）						・「ポッチャ」の人気の が高いため、より多くの方 に参加いただけるよう コート数や試合数の増加 等を工夫する。 ・大会の運営への学生ボ ランティアの協力による 官学連携を図る。
	計画期	第6期			第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)			
	計画値	300			300	300	250	250	250			
	実績値	中止			中止	190	230	230	230			
障がい者福祉課	【概要】 加須市民体育館内において各障害者団体及び 介護者を中心としてミニ運動会を開催する。 ・パン食い競争ほか軽度な競技を中心に個人種 目及び団体対抗種目を実施する。 ・競技の進行等を団体の役員にも協力依頼す る。市民による障がい者スポーツ振興・普及の 取組みを支援する。	【評価の理由】 障害者（児）の交流・健康増進を目的にスポーツ交流大会 を開催し、事業の目的を達成できたため。	達成率	92.0%								

第7期 加須市障害者計画 進行管理調書（実施状況報告書）

5 社会参加の促進

2 交流・コミュニケーション支援の充実

1 多様な交流の促進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の取組状況	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
63	障害者福祉団体 支援事業	【目的】 各障害者福祉団体の助成を図り、 社会福祉活動の推進、福祉の増進を 図る。	・各障害者福祉団体活動 費の助成	1・ 目標を 達成	指標(単位)	団体助成数 (団体)						・団体の実績や活動費を 検討したうえで適切な額 を助成する。
	計画期	第6期			第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)			
	計画値	5			5	5	4	4	4			
	実績値	4			4	4	4	4	4			
	【評価の理由】 各団体に対し、前年度の実績報告及び当該年度の交付申請 ともに適正なものと確認のうえ補助金の交付を行い、概ね計 画通りであったため。							達成率				
	障がい者福祉課	【概要】 各障害者福祉団体活動推進のために活 動費を助成する事業。 【助成団体】 身体障害者福祉会（加須・大利根）、視 覚障害者福祉協会加須支部、手をつなぐ 親の会（加須）、聴覚障害者協会			100.0%							

2 コミュニケーション支援の充実

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の取組状況	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
64	障害者コミュニケーション支援 事業 【再掲】	【目的】 聴覚、音声機能、視覚等の障がい のため、意思疎通を図ることに支障 のある障がい者に対し、意思疎通の 円滑化を図り、社会参加を推進す る。	・手話通訳者派遣事業運 営委員会の開催 ・登録手話通訳者認定試 験審査会の開催 ・登録手話通訳者認定試 験の実施 ・手話通訳者の派遣（市 単独） ・手話奉仕員養成講座の 開催 ・手話フォローアップ講 座の開催 ・手話通訳者養成講座の 開催 ・頸肩腕健診	3・ やや遅 れてい る	指標(単位)	手話通訳者派遣件数 (件)						・通訳者派遣のコーディ ネートなどを行う専任手 話通訳者を増員し、派遣 業務の安定的かつ円滑な 運営を図る。
					計画期	第6期			第7期			
					年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)	
					計画値	440	450	460	530	540	550	
					実績値	510	523	500	445	380	400	
					【評価の理由】 手話通訳派遣依頼に対し、速やかに市登録手話通訳者や専 任手話通訳者と派遣に係る調整を行い、対応することができ たため。						達成率	
						70.4%						
65	障がい者福祉課	【概要】 聴覚障がい者のコミュニケーショ ン支援・情報保障のため、手話通訳 者等を派遣する（埼玉聴覚障害者情 報センターへ委託）。直営実施の向 けた準備委員会を開催。登録手話通 訳者認定試験の実施。また、手話通 訳者等を養成するため、社協に委託 して養成講座等を開催する。		1・ 目標を達 成	指標(単位)	手話奉仕員等養成講座開催数 (回)						・手話奉仕員養成講座と 手話通訳者養成講座の間 を埋めるための手話技術 向上支援のフォローアッ プ講座や、初めての方を 対象にした手軽に参加で きる講座を実施し、裾野 の拡充を図る。
					計画期	第6期			第7期			
					年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)	
					計画値	90	102	90	102	90	102	
					実績値	90	100	90	120	116	120	
					【評価の理由】 各種講座について、計画通り開催することができたため。						達成率	
						128.9%						

3 移動の円滑な支援

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の取組状況	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
66	障がい者訪問サービス事業 【再掲】	【目的】 障がい者（児）が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障がい者訪問サービスに係る給付その他の支援を行い、もって障がい者（児）の福祉の増進を図る。	・障がい者訪問サービス費の支給決定 ・介護保険サービスへの円滑な利用の促進	1・ 目標を達成	指標(単位)	同行援護利用者数（人）						・利用対象者の多い「居宅介護」や「行動援護」を中心に、適正にサービス提供を行う。
	計画期	第6期			第7期							
					年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)	
					計画値	12	12	12	12	12	12	
	障がい者福祉課	【概要】 ・障害者総合支援法に基づく「居宅介護」、「重度訪問介護」、「同行援護」「行動援護」及び「重度障害者等包括支援」の障害支援区分に応じたサービスの提供を行う。 ・介護保険サービスの円滑な利用の促進【H30.4～制度改正】			実績値	12	12	12	18	26	12	
					【評価の理由】 「居宅介護」や「行動援護」を中心に、障害支援区分に応じたサービスを適正に提供することができ、計画値を上回ったため。						達成率	
											216.7%	
67	車椅子対応軽自動車の貸出	【目的】 障がい者や高齢者の外出などの利便性向上を図る。	・広報誌やホームページ、ラジオ（FMわたらせ）において、事業の周知をした。 ・民間企業からの寄贈があった。	2・ 概ね達成	指標(単位)	車椅子対応軽自動車貸出件数（年間）（件）						・実績値が減少傾向にあるため、周知活動が必要である。
	計画期	第6期			第7期							
					年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)	
					計画値	280	280	280	300	300	300	
	社会福祉協議会	【概要】 車椅子のまま乗車できるスロープ式自動車を貸し出し、障がい者や高齢者の外出などを支援する。			実績値	229	283	293	282	247	260	
					【評価の理由】 ・通院の送迎等で使用頻度の高かった利用者数が減少したため。						達成率	
											82.3%	
68	車椅子の貸与	【目的】 障がい者や高齢者の外出などの利便性向上を図る。	・広報誌やホームページ、ラジオ（FMわたらせ）において、事業の周知をした。 ・公共施設への貸出を開始した。	1・ 目標を達成	指標(単位)	車椅子貸出件数（年間）（件）						・2年連続で100件を超えているものの、新規利用件数は減少しているため、更なる周知活動が必要である。 ・貸出を行う公共施設数を増やすことで、実績値の増加のみならず利便性向上への貢献が期待できる。
	計画期	第6期			第7期							
					年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)	
					計画値	120	120	120	110	110	110	
	社会福祉協議会	【概要】 費用負担なく車椅子を貸し出すことにより、障がい者や高齢者の外出などを支援する。			実績値	92	88	90	112	110	110	
					【評価の理由】 ・公共施設への貸出により、貸出環境が改善したため。						達成率	
											100.0%	

3 情報アクセシビリティの推進

1 情報アクセシビリティの推進

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の取組状況	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
69	かぞっとメール配信事業	【目的】 携帯電話やパソコンのメール機能を利用して行政情報の提供を行い、市民との情報の共有化を図る。	・安全安心情報、イベント情報、子育て情報、就業支援情報及び学校配信情報等を、登録された市民等の携帯電話やパソコンに情報の種類別に担当課からEメールにて配信 ・警察等から依頼された犯罪、防犯情報等をメール配信 ・防災行政無線の放送内容の自動メール配信	4・大幅に遅れている	指標(単位)	かぞっとメール配信件数 (件)							・引き続き、転入者へ広報チラシを配布するなど、周知に努める。 ・今後は、防災行政無線やLINEの連携を踏まえ、行政情報配信の充実を図る。
	計画期	第6期				第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)				
	計画値	950			950	950	950	950	950				
	実績値	883			895	890	430	429	430				
	【評価の理由】 かぞっとメール配信件数は、R6年度から小・中学校が独自の連絡手段を導入したことにより目標の達成が難しくなり、計画値を大きく下回ったため (配信429件内訳：安全安心情報 253件、子育て情報 162件、イベント情報14件)。							達成率					
									45.2%				
70	障害（児）者日常生活用具給付等事業	【目的】 障がい（児）者等に対して職業その他日常生活の能率向上を図る。	・日常生活用具の給付により障がい者の日常生活及び社会生活を支援 ・日常生活用具の給付により障がい者の属する世帯の経済的負担を軽減	3・やや遅れている	指標(単位)	給付等件数（情報・意思疎通支援用具） (件)							・支給申請に対し、内容や要件などを確認し、適正な給付を図る。
	計画期	第6期				第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)				
	計画値	10			10	10	10	10	10				
	実績値	8			14	10	14	5	10				
	【評価の理由】 視覚・聴覚障がい者等を支援する拡大読書器や聴覚障害者用通信装置等を適正に給付できたが、目標値を下回ったため。							達成率					
									50.0%				
	【再掲】												
	障がい者福祉課	【概要】 在宅障がい者・児、小児慢性特定疾患児に対して、盲人用時計・移動用リフト・ストマ用装具等の給付等を行う。 自己負担は基準額の1割、月額上限37,200円、市民税非課税世帯は自己負担なし。											

第7期 加須市障害者計画 進行管理調書（実施状況報告書）

6 安心・安全の取組

1 福祉のまちづくりの推進

1 バリアフリー化の推進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の取組状況	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
71	公共施設バリア フリー化事業	【目的】 誰もが生活しやすい地域環境を形成するため、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れる。	〇改良工事等に併せてバリアフリー化を推進している。 ・礼羽小学校校舎長寿命化改良工事 ・高柳小学校校舎長寿命化改良工事設計業務委託 ・新保育所新築工事設計業務委託 ・消防団第1分団詰所新築工事	1・ 目標を達成	指標(単位)	バリアフリー化した改修工事等の箇所数（累計）（箇所）							・加須市市有施設設計方針に基づき、改修工事等に併せてバリアフリー化を実施していく。
	計画期	第6期				第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 （決算）	令和8年度 （見込）				
	計画値	33			34	35	36	37	38				
	実績値	32			34	34	35	37	38				
	【評価の理由】 礼羽小学校校舎長寿命化改良工事及び消防団第1分団詰所新築工事の際、可能な範囲でバリアフリー化に配慮したため。							達成率					
							100.0%						
72	幹線道路新設改良事業	【目的】 国道とのネットワークを構築し、円滑な交通誘導により、交通事故の防止に寄与する。 また、渋滞緩和により環境への負荷を軽減させる。 安全で快適な道路環境を作るため、加須市管理道路の維持を行う。	幹線道路新設改良工事の交通の快適性、安全性の向上を図る。 ・現況測量 ・工事内容等に関する地元、関係機関との協議・調整 ・用地測量 ・路線測量・詳細設計 ・工事発注→施工管理・工程管理・品質管理 ・隣接地権者との施工調整 ・舗装新設工事の実施 ・単価契約工事による道路維持補修工事の実施 ・直営作業による道路維持補修作業の実施 ・道路側溝の維持管理（清掃、補修工事） ・占用路線等の除草 ・幹線道路を対象に社会資本整備総合交付金による打換え工事の検討 ・道路照明灯水銀及びナトリウムランプのLED化の実施	2・ 概ね達成	指標(単位)	舗装整備率（％）							・道路通行の安全性と利便性を図るため、継続路線の早期完成を目指すとともに、損傷した舗装の打換えを実施する。
	計画期	第6期				第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 （決算）	令和8年度 （見込）				
	計画値	74.0			74.8	75.5	76.4	77.1	77.9				
	実績値	70.0			70.1	70.0	70.4	70.5	70.5				
	幹線道路新設改良工事の交通の快適性、安全性の向上を図る。 ・現況測量 ・工事内容等に関する地元、関係機関との協議・調整 ・用地測量 ・路線測量・詳細設計 ・工事発注→施工管理・工程管理・品質管理 ・隣接地権者との施工調整 ・舗装新設工事の実施							達成率					
										91.4%			
	道路維持管理事業	【概要】 ・「第二次加須市幹線道路網整備計画」に於いて整備期間を短期（H28・H32）、中期（H33・H37）、長期（H38・H42）に区分し、短期に位置付けた幹線1・2級市道の整備を行う。 ・道路パトロール、自治会や市民からの通報に基づき、直ちに修繕を行う。 ・幹線道路は、路面調査による損傷度等から優先順位を付け計画的に修繕を行い、生活道路は、自治会等から要望が出された路線を「生活道路整備事業評価システム」により事業化する。											
	計画期				第6期				第7期				
	年度				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 （決算）	令和8年度 （見込）			
計画値	74.0		74.8	75.5	76.4	77.1	77.9						
道路公園課													

2 地域福祉による支援

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の実組状況	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
73	地域市民活動促進事業	【目的】 協働によるまちづくりを推進するために、市民の自主的・主体的な活動を支援する。	・市民活動ステーションとの協働運営による、市民活動団体への様々な支援（情報提供・機器利用など）を実施 ・市民活動への参加促進のため、フェイスブックや情報誌「くらくら館だより」の発行などにより各種情報を発信	2・概ね達成	指標(単位)	障がい者支援を行っている地域市民活動団体数（団体）							・市民活動ステーションと連携し、市民活動団体の新規登録の促進を図る。 ・市民活動ステーションの障がい者の方への利便性の向上を検討する。
	計画期	第6期				第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)				
	計画値	9			9	9	10	10	10				
	実績値	8			8	8	8	8	8				
	【評価の理由】 市と市民活動ステーションとの連携のもと、市民活動団体からの相談や団体への育成支援などに取組み、障がい者支援団体数が目標値の8割に達したため。							達成率					
								80.0%					
	市民協働推進課	【概要】 ・市民の自主的、主体的な地域市民活動への参加を促進し、協働によるまちづくりを推進する。 ・「まちづくりネットワーク・かそ」との協働運営に基づき、市民活動ステーションを拠点とした市民活動への参加促進を図る。 ・地域市民活動支援補助金を活用し、団体の育成及び自立支援を行う。											

第7期 加須市障害者計画 進行管理調書（実施状況報告書）

6 安心・安全の取組

2 生活環境の整備

1 防犯・緊急体制の充実

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の取組状況	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
74	あんしん見守り サポート事業	【目的】 市内のひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯、障がい者、生活に困窮している者、及びその他日常生活の中で見守りが必要とされる者が安心して暮らせる地域づくりを目的とする。	・ライフライン事業者等からの通報による安否確認 ・礼状と今後の協力依頼通知の送付 ・熱中症に関わる見守りを依頼する文書の送付	1・ 目標を達成	指標(単位)	協力事業者数 (件)						・新たな協力事業者の発掘を行う。 ・ホームページ等にて事業のPRを行う。
					計画期	第6期			第7期			
					年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)	
					計画値	58	59	60	57	59	61	
					実績値	54	56	55	61	61	61	
	地域福祉課	【概要】 ライフライン事業者等がお客様宅を訪問された際に、郵便ポストに新聞や郵便物がたまっていたなど、日常業務の範囲内で何らかの異変に気づかれた場合、市の安心見守り事業担当部署へ連絡をいただく。その後、市は関係機関や団体と連携し、対象者の安否確認等を行う。	【評価の理由】 計画を上回る協力事業者と協定を締結したため。なお通報案件については、全て適切に対応・処理するとともに、前年度から継続して協力体制の充実を図ることができた。また令和7年度の協力事業者から市への報告件数は3件であった。							達成率 103.4%		

2 居住の確保と住環境の整備

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の取組状況	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
75	住宅改修等需要 促進事業	【目的】 市民の消費を促し、市内事業者への 工事受注機会を拡大し、工業の振 興及び地域経済の活性化を図るとと もに居住環境の向上を図る。	・自己所有の居宅等改修 工事費用の一部助成 ・定期的な周知・広報	2 ・ 概ね達成	指標(単位)	申請受付件数 (件)						・引き続き、広報紙や ホームページなどによる 市民への周知、定期的な 資料送付による市内事業 所担当者への周知を図っ ていく。
	計画期	第6期			第7期							
	年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)				
	計画値	330	330		330	470	470	470				
	実績値	392	445		470	460	455	470				
	【評価の理由】 ・より多くの市民に利用してもらうため、広報紙掲載や市内 事業所(工務店等)に案内資料を送付するなど、周知・広報を 行ったことで、市民の問合せ増加や市内事業所のセールスポ イントとなり、目標の9割以上達したため本評価とした。							達成率				
								96.8%				
	産業振興課	【概要】 市民が市内施工業者により自己所 有の居宅等を改修する場合、その工 事費用の一部を助成する。 ・対象工事：200千円以上（税別） ・補助率：工事費用の5%相当額 ・助成金交付限度額：50千円										

6 安心・安全の取組

3 水害・震災等への防災体制の充実

1 災害への備え

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の取組状況	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
76	災害時要援護者 支援事業	【目的】 災害に備えて、高齢者や障がいのある方など自ら避難することが困難な方について、地域の中で避難支援を受けられるようにするための制度を整備することにより、安心して暮らすことができる地域づくりの推進を図る。	・自治協力団体代表者や民生委員・児童委員等の協力及びブロンズ会議等あらゆる機会を通じて「災害時要援護者名簿」の周知拡大と避難援助者登録を推進 ・自治協力団体、民生委員等に「災害時要援護者名簿」を提供し、見守り活動に活用 ・新たな福祉避難所の協定締結の検討	2・概ね達成	指標(単位)	要援護者名簿登録者数（障がい者のみ）（人）						・引き続き、ブロンズ会議等あらゆる機会を通じて名簿登録及びマッチングの推進を図る。 ・名簿やモデル地区での名簿活用事例等の様々な情報を地域の避難支援等関係者に提供し、地域における避難支援体制の仕組みづくりを支援する。
					計画期	第6期			第7期			
					年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)	
					計画値	335	340	345	430	435	440	
					実績値	310	430	420	366	370	380	
					【評価の理由】 現在、災害時要援護者システムと障害者システムのデータ連携が可能となっており、登録者数を的確に把握できているため。						達成率	
											85.1%	
77	地域福祉課	【概要】 災害時に備え、要援護者の把握及び登録台帳を整備し、避難支援等関係者と情報を共有する。 要援護者名簿は、1年に1回、自治協力団体、民生委員・児童委員、自主防災組織、消防団等に配付し情報を更新する。 福祉避難スペースにおける必要備品の整備や福祉避難所確保に向け施設の検討を行う。		1・目標を達成	指標(単位)	福祉避難所協定締結施設数（件）						・高齢者や障がいのある方などが安心して避難できるよう福祉避難スペースの整備・充実や福祉避難所の協定締結を推進する。 ・福祉避難所への直接避難についての推進を図る。
					計画期	第6期			第7期			
					年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)	
					計画値	28	29	30	30	30	30	
					実績値	29	29	29	32	31	31	
					【評価の理由】 1施設が閉鎖となったが、協定を締結している施設数が計画値を上回ったため。						達成率	
											103.3%	

2 感染症への備え

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和7年度の実組状況	評価	成果・目標指標 評価の理由							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
78	障害者福祉管理 事業	【目的】 障がい福祉関連事業を実施するに あたり、共通する管理費をまとめる ことで各事業を円滑に実施する。		4・ 大 幅 に 遅 れ て い る	指標(単位)	消毒液備蓄数 (個)						
	計画期	第6期			第7期							
	年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (決算)	令和8年度 (見込)			
	計画値	30			30	30	30	30	30			
	実績値	17			30	30						
	【評価の理由】 新型コロナウイルス感染症が令和5年5月から5類感染症 となり、消毒液の使用期限内の消費も見込まれないため備蓄 を取りやめとした。							達成率				
								0.0%				